

# 2020年度第1四半期 決算概要 説明資料

**DNP**

2020年8月7日  
大日本印刷株式会社

©2020 Dai Nippon Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

## 1. 2020年度第1四半期 連結決算の概況：業績概要

**DNP**

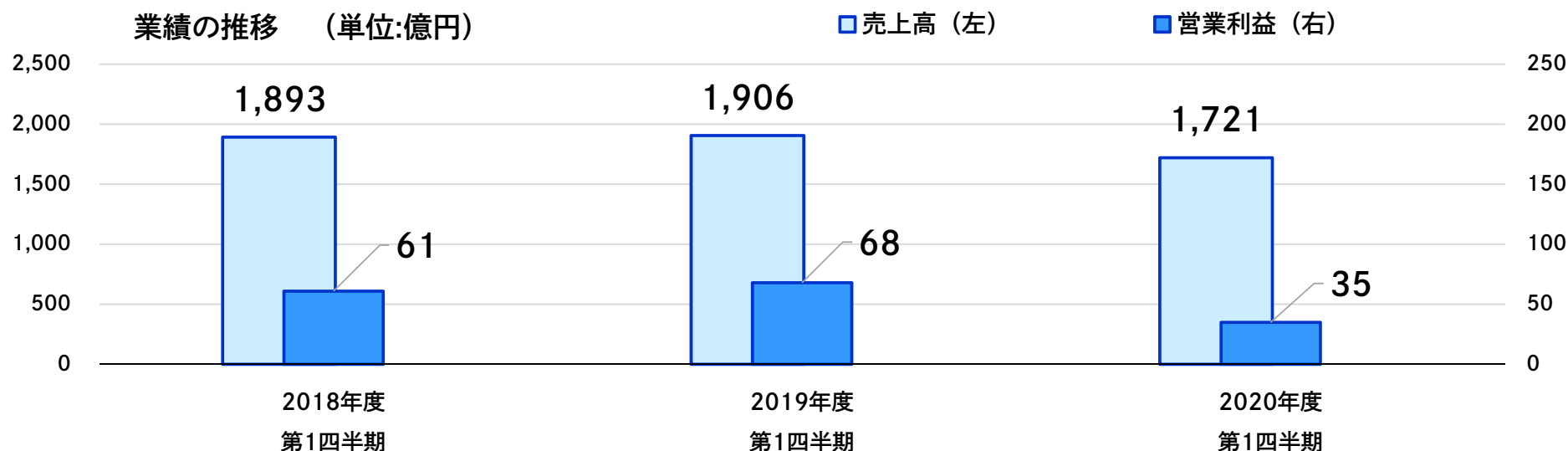
(単位：億円)

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年同期比
売上高	3,445	3,235	▲6.1%
営業利益	138	96	▲30.2%
経常利益	170	135	▲20.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	180	74	▲58.9%

- 新型コロナウイルス感染症の流行により、世界的な行動制限措置、急速な景気の悪化が影響し、減収減益となった。
- コロナ禍で経済・社会・環境が大きく変化するなか、「IoT・次世代通信関連事業」や「環境関連事業」などの注力事業を中心に、経営資源の最適配分や競争力強化のための構造改革に取り組み、強い事業ポートフォリオの構築に努めるとともに、「環境」及び「人財・人権」に関する取り組みを強化するなど、グループ全体の持続可能な成長を支える基盤強化に注力した。

# 1. 2020年度第1四半期 連結決算の概況： セグメント別

## 【情報コミュニケーション部門】

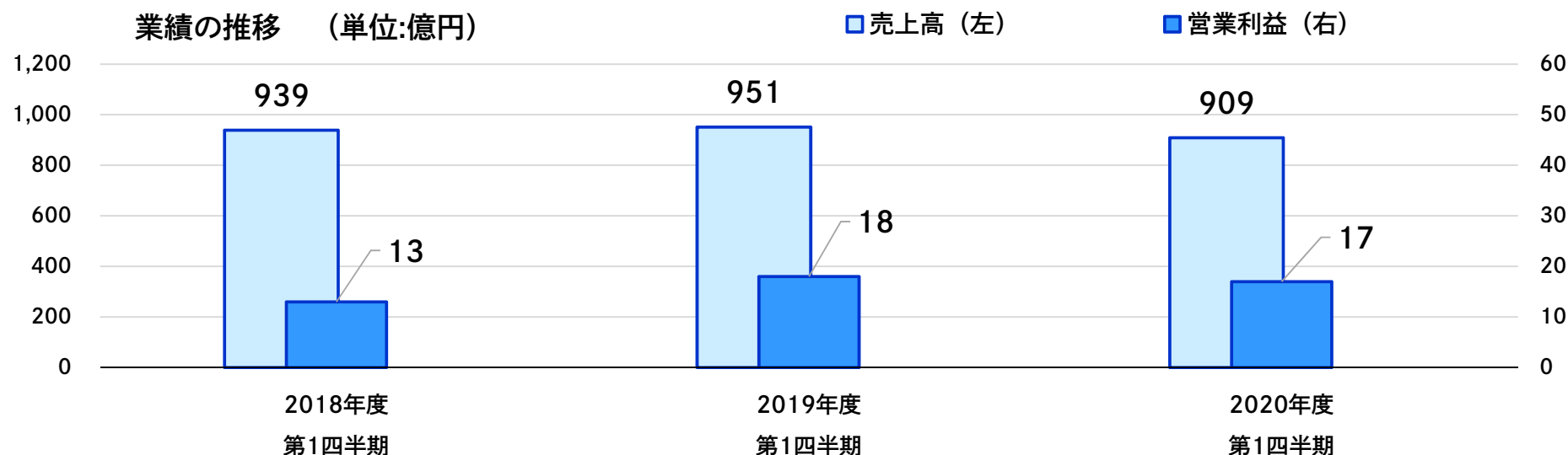


情報イノベーション事業では、マイナンバーカードを中心としたIDカードや、企業等の業務を代行するBPO (Business Process Outsourcing) 関連の事業が順調に拡大。

しかしながら、情報イノベーション事業では、全国のイベント中止の影響やキャンペーン等の広告需要の縮小に加えパンフレットやカタログ等の紙媒体が減少、イメージングコミュニケーション事業では、外出自粛の影響などによって、写真撮影やプリント機会の減少により関連する製品・サービスが減少、出版関連事業では、書店の営業時間短縮等の影響に加え、紙の出版物の市場縮小が続き書籍・雑誌の印刷受注が減少したことで、部門全体では減収減益。

# 1. 2020年度第1四半期 連結決算の概況： セグメント別

## 【生活・産業部門】

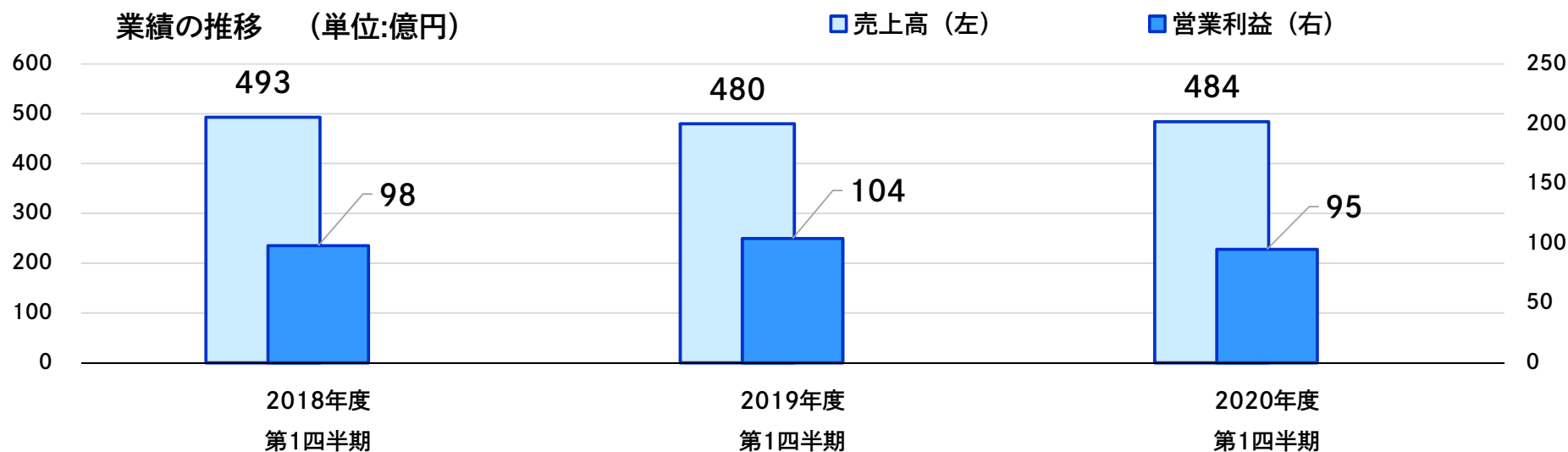


産業用高機能材関連事業では、リチウムイオン電池用バッテリーパウチが普及が進む電気自動車向けのほか、テレワークの広がりなどによってタブレット端末やスマートフォン向けも増加。また、包装関連事業では、医薬・衛生材料向け包材や家庭用の食品包材の需要が増加。

しかしながら、包装関連事業では、外出自粛によって飲料や土産品、飲食店向け等の業務用包材が減少したほか、生活空間関連事業では、感染症の影響等により国内の住宅建築やリフォームの延期・休止が増加したことで、部門全体では減収減益。

# 1. 2020年度第1四半期 連結決算の概況： セグメント別

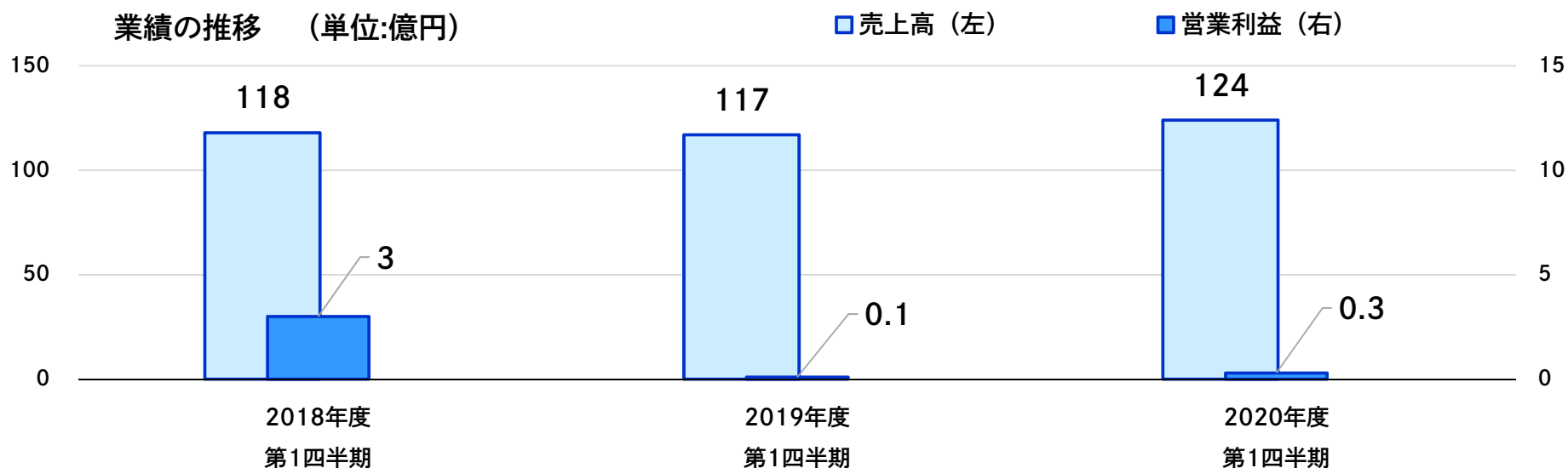
## 【エレクトロニクス部門】



ディスプレイ関連製品事業は、光学フィルム関連で、有機ELディスプレイ向けが伸びたほか、液晶ディスプレイ向けもタブレット端末やモニター用がテレワーク等による家庭での需要の高まりもあり増加。また、有機ELディスプレイを採用したスマートフォンの普及にともない、有機ELディスプレイ製造用のメタルマスクが安定して推移。電子デバイス事業は、半導体市場で製品開発に遅延が見られたことなどから、半導体製品用のフォトマスクが減少。その結果、部門全体では増収減益。

# 1. 2020年度第1四半期 連結決算の概況： セグメント別

## 【飲料部門】

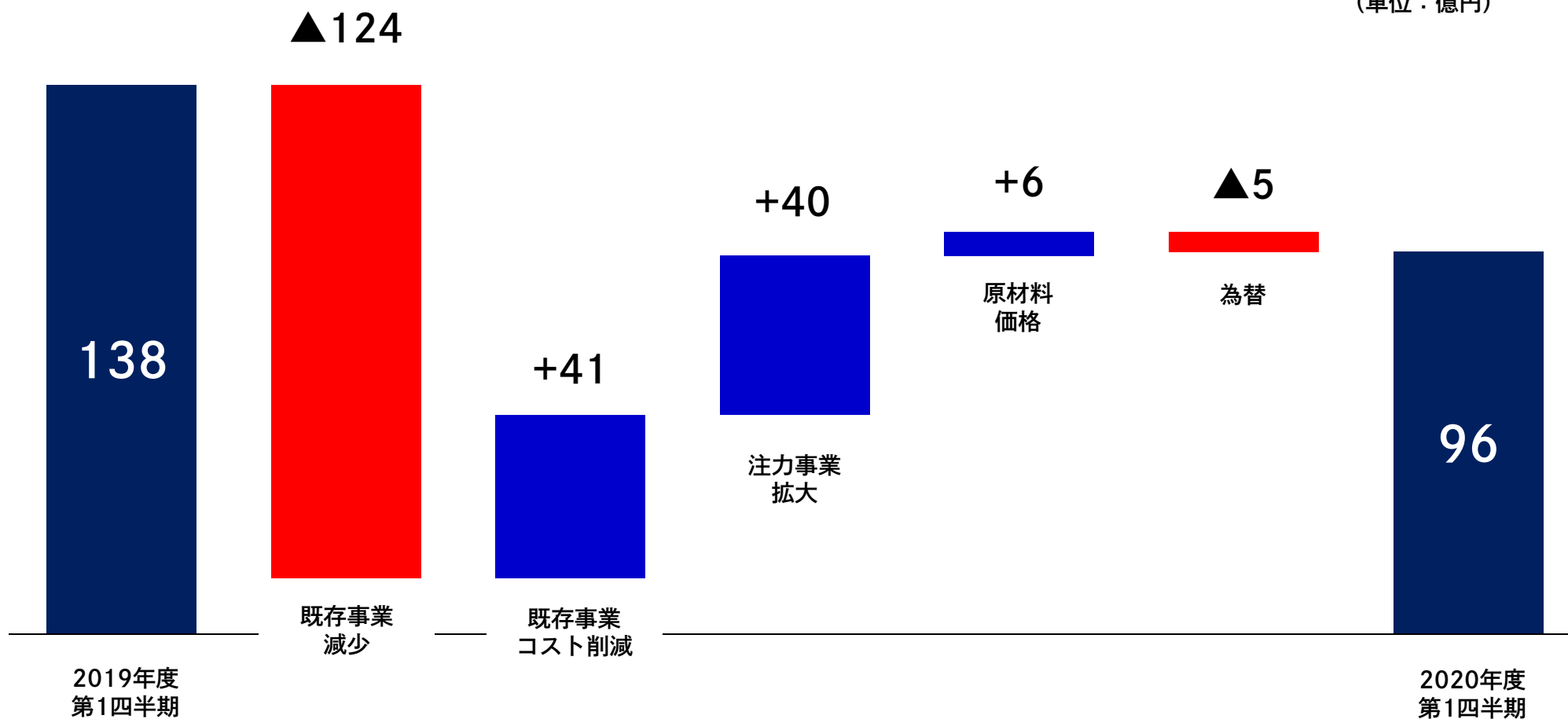


外出自粛の影響によって観光地や飲食店等での需要が減少するなか、主力ブランドの新商品の発売、自動販売機事業、量販店向けの販売促進活動などを強化し、既存市場におけるシェア拡大や新規の顧客獲得などに努めた。小型ペットボトル製品や新製品のアルコール飲料「檸檬堂」の販売が増加したほか、北海道外のボトラーへの販売増により、増収増益。

# 1. 2020年度第1四半期 連結決算の概況：営業利益 増減益分析

DNP

(単位：億円)



## 2. 2020年度業績予想について

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比 (差)
売上高	14,018	13,400	▲4.4%
営業利益	562	400	▲28.9%
経常利益	637	480	▲24.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	694	210	▲69.8%
年間配当金 (円/株)	64.00	64.00	±0.00

- 2021年3月期通期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の流行の影響が見通せず、適正かつ合理的な業績予想が困難であったことから、未定としていた。
- 国内外における段階的な経済活動の再開や、各種財政・金融政策の実施などもあり、今期後半には景気が緩やかながらも回復すると想定。再度の社会的制限が行われないことを前提に、現時点で入手可能な情報に基づき、合理的な見積もりが可能と判断し、通期の業績予想を公表する。
- 年間配当金については、2021年3月期通期連結業績予想を踏まえ、1株あたり64円とさせていただく予定。
- 当社は、株主の皆様をはじめとするステークホルダーへの利益還元を経営の重要政策と位置づけており、利益の配分については、株主の皆様へ安定配当を行うことを基本とし、業績と配当性向などを勘案して実行していく。また、将来の事業展開に備えて、内部留保を確保し、経営基盤の強化を図る。



### 3. 新型コロナウイルス感染症による事業への影響等について ①

DNP

#### <情報イノベーション事業>

■ 6/1決算説明会からの変更点をオレンジ色で記載

- オリンピック・パラリンピックの開催延期をはじめとする全国のイベント中止や、キャンペーン等の広告需要、**パンフレット・カタログ等の紙媒体**が減少している。
- ネット通販等の利用拡大により、デジタルマーケティングやネット決済関連のサービスに対する需要増加が見込まれるほか、企業のBCP対策として業務のアウトソーシング化（BPO）に関する引合が増加している。

#### <イメージングコミュニケーション事業>

- **写真撮影やプリント機会の減少により関連する製品・サービスが減少している。**

#### <出版関連事業>

- **書店の売上が営業時間の短縮や休業によって大幅に減少したことに加え、雑誌・書籍の発売延期等で印刷受注が減少している。**
- **外出自粛や学校休校により自宅で過ごす機会が増えるなか、書店とネット通販、電子書籍販売を連動させた「honto」事業の電子書籍販売が順調に推移している。**

### 3. 新型コロナウイルス感染症による事業への影響等について ②

DNP

#### <包装関連事業>

■ 6/1決算説明会からの変更点をオレンジ色で記載

- 外出自粛により飲料や土産品、飲食店向けの業務用包材は減少している。
- 医薬・衛生材料向け包材や家庭用の食品包材の需要は増加している。

#### <生活空間関連事業>

- 国内における住宅建築やリフォームの延期・休止の増加が影響し、住宅用内外装材の需要が減少している。

#### <産業用高機能材関連事業>

- グローバルでの自動車業界の操業停止により、内装加飾部材等の需要が減少している。
- タブレットやスマートフォン向けのリチウムイオン電池用バッテリーパウチは、テレワークの広がりなどによって需要が増加している。

### 3. 新型コロナウイルス感染症による事業への影響等について ③

DNP

#### <ディスプレイ関連事業>

■ 6/1決算説明会からの変更点をオレンジ色で記載

- 得意先企業の操業時間短縮などの影響は受けたものの、液晶から有機ELへのシフトが進み、有機ELディスプレイ製造用のメタルマスクは、得意先企業の材料確保にともなう需要の増加が見られる。
- 光学フィルム関連も、有機ELディスプレイ向けが伸びているほか、液晶ディスプレイ向けもタブレット端末やモニター用がテレワーク等による家庭での需要の高まりもあり増加している。

#### <電子デバイス事業>

- 電子デバイス関連事業は、半導体市況の先行きは不透明だが、テレワークの進展などにより5GやIoTの広まりによる需要増加も期待される。

### 3. 新型コロナウイルス感染症による事業への影響等について ④

**DNP**

<飲料部門>

■ 6/1決算説明会からの変更点をオレンジ色で記載

- 外出自粛による観光地や飲食店等での需要減少が影響しているが、「家飲み」需要の増加で新製品のアルコール飲料「檸檬堂（れもんどう）」の販売増加が期待される。

未来のあたりまえをつくる。

**DNP**

## 免責事項

本資料における業績予想及び中期的な経営目標等、将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。